

科目番号		54013	分類	専門科目 基礎公衆衛生看護学	履修者	高度実践公衆衛生看護コース		学年	
科目名	コミュニティアセスメント演習 (Practice of Community Assessment)							1	
								配当セスター	
								後期	
担当者	○永井 智子 他 1 名			区 分	必修	単 位	1	時 間 数	30
授業の概要および目標							学位授与の方針との関連		
【概 要・目 標】 コミュニティアセスメント論で学んだ知識、技術を応用して地域診断を実践する。様々な手法で入手したデータを基に、地域住民の健康にかかわる問題・課題とその要因を分析し、地域の生活や健康課題を解決するための活動計画とその評価、施策化の視点を演習を通して学ぶ。							○	1.多様な課題に対応する高度な実践力	
								2.地域住民の自立を支える統合的支援能力	
							○	3.地域の健康課題を科学的にアセスメント・分析する能力	
								4.政策や保健事業を開発する能力	
							5.災害対応や振興・再興感染症への危機管理能力		
							6.公衆衛生看護・公衆衛生行政に繋がる研究能力		
授 業 計 画									
回	内 容								担当教員
第1回	ガイダンス								永井 他 1 名
第2回	地区踏査・地域診断演習①② 地域診断のための情報収集								
第3回	地区踏査・地域診断演習③④ 地区踏査の計画、地区踏査の実施								
第4回									
第5回	地区踏査・地域診断演習⑤⑥ アセスメント、健康課題の抽出								
第6回									
第7回	地区踏査・地域診断演習⑦ 地域診断のまとめ								
第8回	地区踏査・地域診断演習⑧ 地域診断発表会・修正作業								
第9回	健康教育展開案①② 対象理解、目標設定、実施上の留意事項の検討								
第10回									
第11～13回	健康教育展開案③④⑤ 企画書、シナリオ、媒体下案の作成								
第14回	健康教育展開案⑥ 発表会・修正作業 ※健康教育展開案（企画書、シナリオ）は、指導保健師の確認を受ける								
第15回	事前訪問								
事前・事後学習	事前学習：図書およびコミュニティアセスメント論の資料をよく読んでおくこと。 事後学習：配布資料を復習すること。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に組み合わせること。								
評価の方法	地域診断演習の制作物 80%、地域診断演習の発表 20%から総合的に評価する。 フィードバックは適宜行う。								
参考図書・資料等	©Elizabeth T. Anderson, Judith McFarlane 編 金川克子, 早川和生 監訳 コミュニティア ズパートナー第2版 地域看護学の理論と実際 医学書院								
備 考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。								